

海外各国への取り組み

「世界の環境首都」、「アジアの技術首都」を目指している北九州市の上下水道事業の取り組みや技術を学ぶため、毎年海外からの多くの研修生が来ています。

研修生受け入れの様子▼

北九州市で約4週間の研修を受けたカンボジア国からの研修生

本城浄水場を見学するカンボジアからの研修生

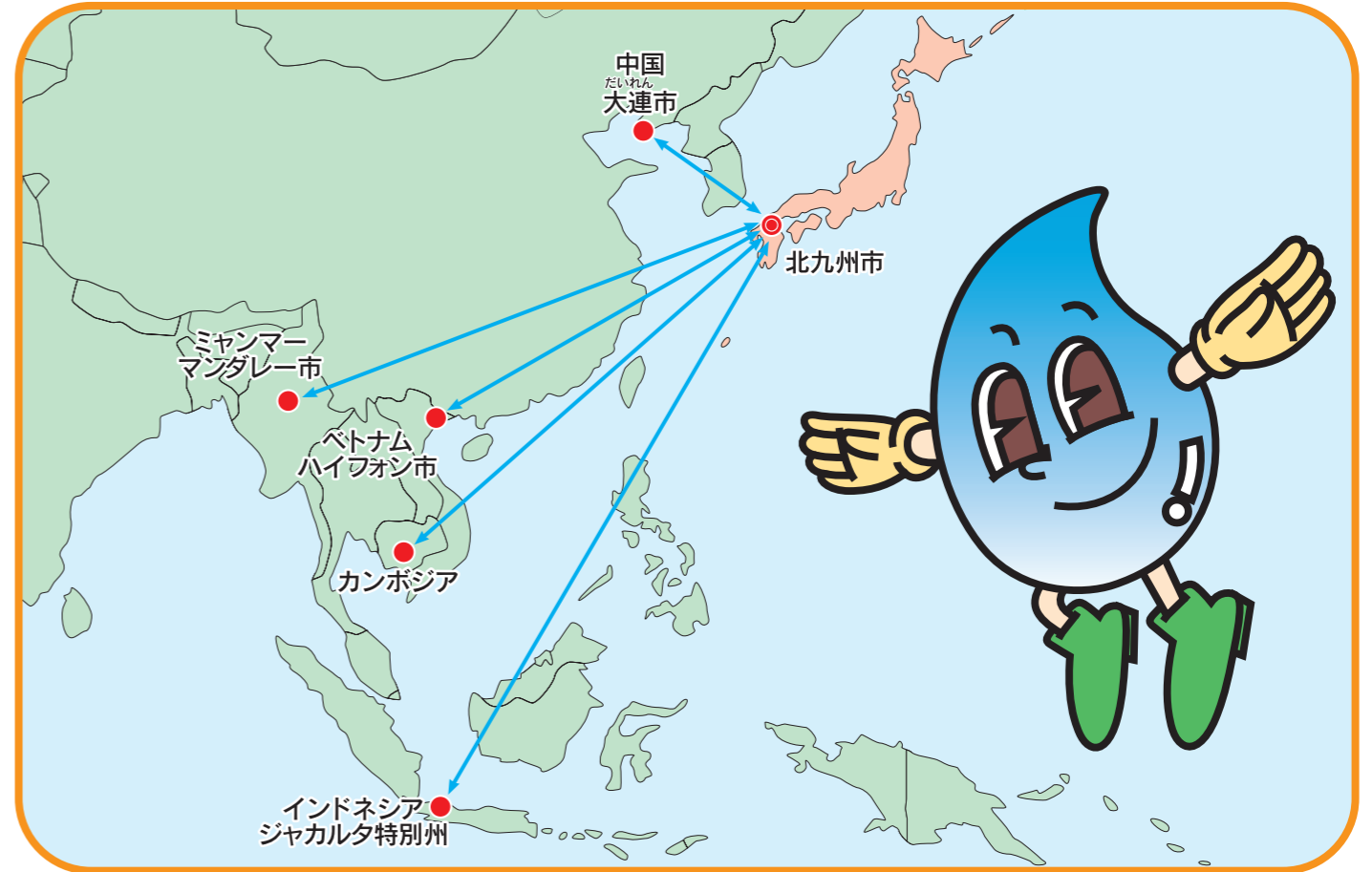
日明浄化センターを見学するベトナムからの研修生

また、上下水道局の職員を海外に派遣し、現地で技術指導を行っています。

カンボジアの浄水場施設内のバルブ操作に関する指導

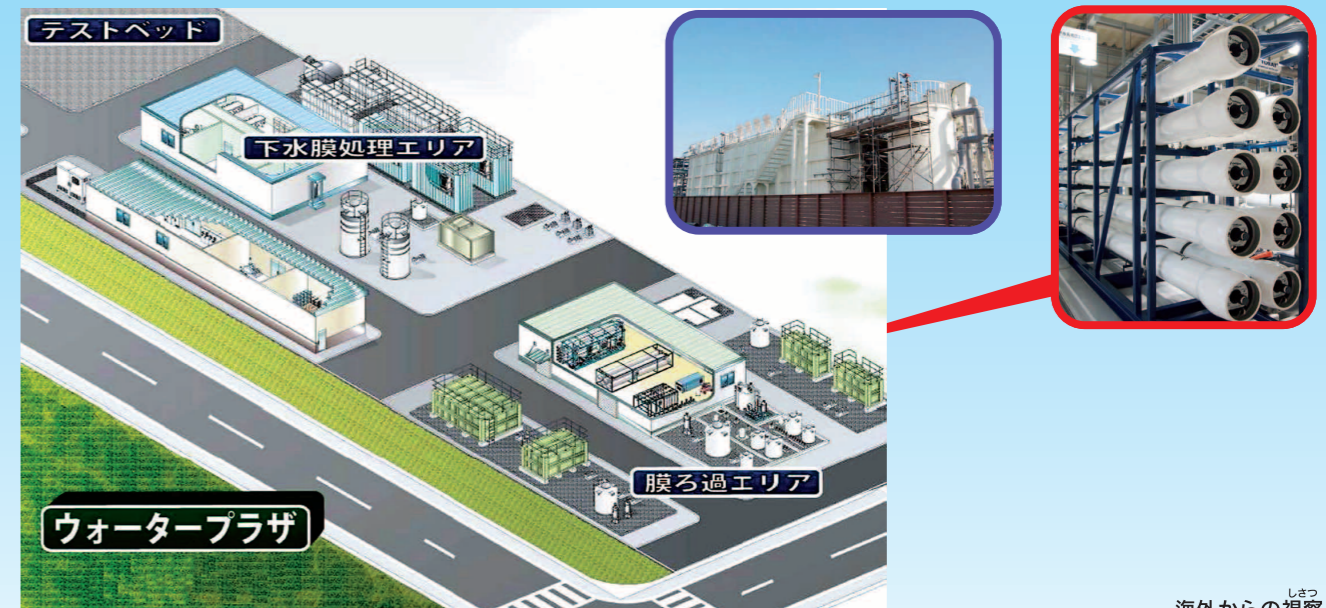
ベトナム・ハイフォンで管渠維持管理に関する技術指導

カンボジア、ベトナム、インドネシア、中国といったアジア諸国を中心に、これまでに146か国から5,718人の研修生を受け入れています。また、13か国に196人の職員を派遣しています。
(平成29年12月末時点)



ウォータープラザ (日明浄化センター内)

下水や海水を、膜を使ってきれいな水に再生する技術を研究しています。この技術を北九州市から世界に発信しています。



海外からの視察